

令和 6 年度

三鷹市生涯学習センター利用者懇談会

「市長への意見及び提案」

本懇談会では、令和5年11月から令和7年2月まで全4回、生涯学習センターの施設や講座等について、市民及び利用者の立場から、意見交換を行ってまいりました。

これまでに懇談会から、子どもの居場所づくりや子ども向けの事業の実施について意見・要望してきたところ、自主学習スペース開放事業の実施及び拡充、さらに令和6年度からは子どもふらっとプレイス事業を実施していただくなど、懇談会からの要望にご対応いただきました。またその他にも別紙のとおり、施設の設備や広報の仕方、講座の内容等の幅広い要望に対しても様々な形で迅速にご対応いただきました。

人生100年時代と言われる現代においては、すべての人がいつまでも学ぶことができるように、それぞれのライフスタイルや学びの段階に応じた学習の提供が求められています。市民の多様な学習ニーズを実現し、一人ひとりに寄り添った生涯学習センターであり続けるために、今後引き続き検討していただきたいものについて、次のとおり意見及び提案いたします。

1 生涯学習センターの施設・管理について

(1) 施設の使用について

- ・学習室7について、NPO法人Mitaka みんなの防災が使用しているが、そのことについて利用者にアナウンスがなかった。
- ・現在、学習室5～7を連結して使用することができないため、ホールを予約する団体が増え、ホールの予約がなかなか取れない状況である。

(2) 施設の設備について

- ・「生涯学習センター」という大きな表示がほしい。「元気創造プラザ」の表示とあわせて、「生涯学習センター」という表示もつけていただきたい。
- ・高齢者の方にもわかりやすいように、「非常口」や非常口案内表示をもっと見やすく、大きな文字で全館フロアに出してほしい。
- ・料理実習室にあるオーブンに発酵機能がついているが、オーブンと並行して利用したい時に使えないので、それとは別にパンの発酵器を置いていただきたい。
- ・喫煙所の案内掲示があるとよい。
- ・子どもたちにとって、4階や5階の学習室まで上がってくることは、すごくハードルが高いと思うので、元気創造プラザ内に「一箱本棚」を設置して、市民が本を紹介したり、学校の先生や市など子どもの活動に関わっている方たちの推薦図書を置いたりできるオープンスペースがあるとよい。

(3) 施設へのアクセスについて

- ・井の頭地域から元気創造プラザへのアクセスが良くない。コミュニティバスの本数が少ないので、一度、三鷹駅や吉祥寺駅まで出ないと来られない。

(4) 広報・ホームページについて

- ・スポーツと文化財団のホームページで、今日どの部屋でどのような活動があるのかわかると便利である。
- ・スポーツと文化財団のホームページについて、全体像がぱっと見てわからない。Google フォーム等を活用して市民が自分たちの活動内容を入力することができて、

誰でも手軽にリアルタイムの情報を知ることができるとよい。

- ・施設の面積だけでなく、寸法や図面なども掲載してもらえると使いやすい。
- ・若い世代や子育て世代の方は、生涯学習センターの存在を知らない方が多いと思うので、若い世代に向けての広報の方法があれば、より幅広く知っていただく機会になると思う。
- ・生涯学習センターのホームページを見ても情報がどこにも載っていないので、実際に開催されているかどうかわからない。講座カレンダーのような、簡単な講座名と日時だけでも一覧にして、市の事業と自主グループの企画のどちらも見られるようなシステムがあるとよい。

(5) その他

- ・団体利用カードについて、利用日当日にカードを持っている人が来られないと困るので、1団体に対して複数枚交付していただきたい。
- ・予約した図書館の本を、生涯学習センターで受け取りや返却ができるようにしていただきたい。
- ・駐車場の無料時間が3時間までで、3時間のコースを受講するとどうしても時間を超過してしまうので、融通を利かせてほしい。

(6) 生涯学習センター以外の元気創造プラザの施設について

- ・SUBARU 総合スポーツセンターについて、プールの水はけが悪い。吸い取りマットを敷いていただき、以前よりも交換していただく回数は増えたが、どうしてもすぐビチャビチャになり不衛生である。
- ・屋上について、ゴルフ練習場のネットが、二重、三重にしているが垂れてしまう。下がらないように何かしてもらえたらありがたい。

2 生涯学習センターの講座・事業について

(1) 講座・事業の実施方法について（総合コース）

- ・全30回のうち自主学習が10回ある。できれば、講師による講座を25回くらいにしていきたい。
- ・1年間で30回は長いので、例えば半期にしたらもっと学習生が集まるのではないかなと思う。
- ・3年受講したらその後5年間は受講できないようにするなど、より多くの人に参加してもらえるような仕組みがあるとよい。
- ・夜間の講座があるとよい。
- ・普通の講義よりも公開講座の講師謝礼の金額を少し高くしていただけると、より有名な講師を呼べると思う。
- ・短期のコースや単発の講座があると良い。

(2) 講座の内容について

【総合コース】

- ・講師の選定や講座の実施回数について、もう少し検討の余地があると思う。
- ・テーマを刷新するような視点でもう少し幅広く検討していただきたい。

- ・企画のプロセスやその年の講座の個性が見えるようにすることが大切だと思う。
- ・新しく参加した人の意見が、なかなか反映されない。

【その他】

- ・スケジュールの一覧表のようなものがあるとよい。
- ・いろんな分野で、なるべく三鷹ゆかりの講師を掘り起こしていただきたい。三鷹ゆかりの講師だと自主グループ等に発展しやすかったりするのではないかな。
- ・子育て世代や子ども向けの講座がもっとあると良い。
- ・手仕事の講座や職業人に話を聞く講座があるとよい。
- ・若い人にとって仕事や勉強につながっていくような、人と人との出会いができるような場所を作っていただきたい。
- ・講座に参加できなかった方へのアーカイブ配信や講座自体を通信でやるのはどうか。
- ・料理実習室で男性向けの簡単な料理教室を開いたり、学習室で麻雀教室を開くなどして、空き施設を有効に活用してはどうか。またその情報を1階の入口で周知することで元気創造プラザの他の施設の利用者にも情報が届くようになるとうい。

(3) 講座・事業の広報について

【総合コース】

- ・56年続いているが、市民の方になかなか浸透していない。素晴らしい講座だと思うのでもっとアピールしてほしい。

【その他】

- ・ネットワーク大学などと連携することで、様々な情報を知ることができる機会を作り、学びたい人に情報が届くような形を考えていただきたい。
- ・SUBARU 総合スポーツセンターに来られている方に生涯学習センターの活動を周知するような連携があるといいと思う。
- ・講座等で興味深いものがあってもうまくつながっていなかったり、情報がうまく得られなかったりということがあるので、それが統一的にできると良い。

令和7年3月28日

三鷹市生涯学習センター利用者懇談会委員

座長	進	邦	徹	夫
	尾	本	政	二
	田	山	光	興
	倉	澤	純	子
	鈴	木	康	継
	荻	原	浩	二
	黒	沢	園	子（令和5年度）
	登	内	京	子（令和6年度）
	引	馬	彩	子
	平	林	孝	章
	本	間	あずさ	
	向	井	知	子
	小	暮	裕	子
	平	山		寛（令和5年度）
	長	瀬	雅	之（令和6年度）

令和6年度 三鷹市生涯学習センター利用者懇談会 対応済み意見及び提案一覧

意見及び提案		対応内容
施設の設備について	料理実習室について、ずっと使っていない食器が汚れていたり、茶渋が付いていたりするので、食器をきれいにしていただきたい。	茶渋等の汚れについては、定期的にスポーツと文化財団の職員が確認し、対応することになりました。
	料理実習室にある食器を洗うスポンジを、もう少し早めに新しいものに交換していただきたい。	スポンジ等の消耗品について、スポーツと文化財団の職員が確認を行いながら、順次交換していくこととしました。
広報・ホームページについて	スポーツと文化財団のホームページから SNS へアクセスできるようになるとよい。	スポーツと文化財団のホームページから SNS へアクセスできるようにしました。
その他	生涯学習センターが、子どもの居場所の1つになるとよい。その中で、市民の力も活用していただきたい。	子どもの居場所作りとして自主学習スペース開放事業等を実施しています。また、子どもふらっとプレイス事業において、子どもの放課後の居場所作りを人財バンク「まちの先生」等を活用しながら行っています。
	芸術文化協会に加盟している団体がイベントを開催する時に、各団体が直接、市内の各施設とやり取りをしているため、芸術文化協会にはその情報があまり入ってこないの、スポーツと文化財団から芸術文化協会へ、そのような情報を提供していただきたい。	今後も、スポーツと文化財団と芸術文化協会連携し、情報の共有を図っていきます。
SUBARU 総合スポーツセンターについて	プールに忘れ物があっても、2、3日放置されていることがある。	プール営業終了時に忘れ物確認の対応をすることにしています。
講座・事業の実施方法について (総合コース)	企画委員、運営委員、あゆみ編集委員などがあり、よく理解できていないので、一連の流れが一目で分かるような資料を配付していただきたい。	スポーツと文化財団のホームページや総合コースの手引き等で周知しています。

意見及び提案		対応内容
講座の内容について (総合コース)	5コースのうち2コースが定員割れしているが、継続して実施していただきたい。	これからも継続して実施していく予定ですが、今後も定員割れにならないように工夫していきます。
講座の内容について (その他)	生涯学習センターフェスティバル等で、市民講師が講座をできる機会があるとよい。	令和6年度の生涯学習センターフェスティバルで市民講師による『シナリオ講座』ワークショップを開催する予定です。
	市がこれから力を入れていきたい政策に関して学習会をやったり、市民が関心を持っていることに関して、場合によっては市民参加で進めることで、学びの循環を構築できるのではないかと。	総合コースや利用者懇談会で市民の方から意見をいただくことでニーズに合った講座を開催していきます。
	子ども発達支援センターで一時保育をしている間に親が学べるような機会があれば、学びが開かれていることを知る機会にもなるし、交流の機会にもなる。	生涯学習センターでは保育付き講座を実施しており、また生涯学習課では自主グループ保育支援事業を実施しています。引き続き、保育支援の充実に取り組んでいきます。
講座・事業の広報について (総合コース)	企画委員と講師が対談したものを記録して、アーカイビングとして配信できるとよい。	企画委員の方や講師の方のコメントを撮影してYouTubeで配信しています。